

明日は42年ぶりに浦高祭へ！

●懐かしい門づくり…！

今朝の読売新聞に「浦高祭」に関する記事が掲載されていました。ちょっとご紹介を…。

* *

◆安土城模した門 浦高生が作成中

さいたま市浦和区の県立浦和高校で13、14日に開かれる文化祭「浦高祭」に向け、生徒25人が、安土城を模した高さ9m、幅6mの門作りに挑んでいる。

同校は毎年、文化祭実行委員のメンバーが来訪者を迎えるための門を作成している。安土城は焼失しており、詳細な資料が残っていないため、市販のプラモデルを参考にして構想を練った。

終業式のあった7月18日から制作にとりかかり、夏休み中は午前8時半から午後7時過ぎまで作業したという。発泡スチロールの石垣は表面を削って石に近い質感を出し、天守などにつけられた龍や鳳凰はカッターで精巧な彫刻を作った。

リーダーの2年、山内海人さん(16)は「門をくくって始まる浦高祭を皆さんに楽しんでもらいたい」と話した。【読売新聞、9月12日】

* *

浦高ホームページに門隊長・山内君のブログが…。

* *

◆もーいくつねるとー



【昨年の門】



【今年の門、骨格】

ブログの更新…べ…別にサボってた訳じゃないんだからね////お久しぶりです、門隊長の山内です。本当のことを言うと、最近ブログを更新しなかったのは門の全体が出来上がりつつ有るので写真を載せられないという理由からです。決してサボってた訳じゃ…はい。

文化祭近くで初めて門隊のブログを読む方もいると思うので、一応少し紹介を…我々門隊は文化祭の入場門をつくる組織で2年生7人、1年生18人の計25人で活動しています。

入場門かよ…と思う人もひょっとしたらいるかもしれませんが、昨年、モチーフはドイツのアーヘン大聖堂。

どうですか、このように毎年先輩方が素晴らしい門を建てています。そして今年のモチーフは、焼失した幻の名城 安土城です！

それでは、見せられる所までお見せします。

おっと、ここまでですよ。続きは浦高祭に来てからお楽しみください。

明日は徹夜作業なので浦高祭公式 Twitter で細かく報告を行います！

ぜひそちらの方もチェックして下さい。

【文実ブログ・門隊「もーいくつねるとー」9月5日】

* *

実は私も42年前の2年生時に浦高祭実行委員の一人として門を造っていたことを思い出しました。当時は、既存の校門を使って門柱とし、それを結んだアーチ部分にデコレーションをしていたのですが、卒業アルバムの門は3年生の写真で私たちが造った門の写真を見ることはできませんが、この記事を見ながら懐かしく思い出しました。

私にとっては暗かった浦高生活の中で、一生懸命に取り組んだのが、体育祭と浦高祭でした。特に、2年生の時には竹沢さんが生徒会長になり、私も生徒会活動をお手伝いしていたような記憶が蘇ってきました。昨年の同期同窓会で竹沢さんから「私が生徒会長をやっていたことを覚えている人はいないでしょうねえ」と言われたときには思い出せなかったので…ゴメン！

ジグソーパズルのように

断片が少しずつ繋がって当時の楽しかった記憶も少しずつ戻りつつあります。明日は「百年の森展示」を見ながら、門と浦高祭を楽しんで来ようと思いません。よろしければ皆様も母校の文化祭へどうぞ！

